



日本医療機能評価機構認定病院
京都山城総合医療センター
 Kyoto Yamashiro General Medical Center

発行元 京都山城総合医療センター
 発行元責任者 中井 一郎

山城医療センターの 診療得意技

地域住民の皆様、秋の風の心地よい季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、当院は少しずつ医師も増え、現在では常勤51名となりました。また、看護師・技士スタッフも、充実してきております。最近では京都府立医大より、田尻教授（小児外科）・浮村教授（泌尿器科）・橋本教授（脳神経外科）・島田教授（呼吸器外科）・池田准教授（整形外科）をはじめ、多くの講師クラスの先生方



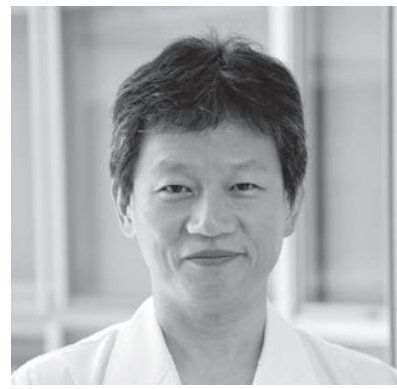
院長 中井 一郎

も来院頂き、最新の手術を実施して頂いております。また、本年4月より柳澤特任教授（元癌研・病理部長）による院内病理診断も開始しております。

このように、府立医大とのパイプを深め、地域の方々の要望にお答えすべく、より質の高い医療が実践できるようになってきました。

そこで、今回は当院の「得意技」の一部をご紹介させて頂きたいと思っております。

消化器内科の得意技



副院長

新井 正弘

＝内視鏡治療＝

現在年間6,000件以上の消化器内視鏡検査および治療を実施しています。常勤医師数は4名と少ないのですが、全員が消化器病学会、消化器内視鏡学会の専門医であり少数精鋭で日々頑張っています。

検査、治療にあたって日頃から心がけていることは、患者さんへの負担を少なくすることです。内視鏡治療自体が負担の少ない治療として認識されていますが、検査だけでもかなりの苦痛を伴うことがありますので、最近では検査予約時に確認したうえで、必要に応じて鎮静剤を使用して検査を行っています。眠っている間に検査をすることができますので、これまでのどの苦痛が強く検査がすくつかつた方も、かなり楽に受けていただけるようになりました（全身麻酔ほど深くはないので、車の運転はできませんが、外来で受けることができます。ただし全員に鎮静が必要というわけではありません。）

また救急告示病院として、胃潰瘍からの出血による吐血や、胆石発作等の緊急時に対応するためには、医師の緊急呼び出し体制だけでなく、看護師・臨床工学技士等の内視鏡室スタッフの協力も必要です。幸い当院では内視鏡室勤務になったスタッフの方が、積極的に消化器内視鏡技師の資格を取得していただいているので、夜間・休日にも迅速に対応できていると自負しています。

ちなみに平成27年度は、消化器内視鏡総件数約6,300件、早期胃癌・食道表在癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術ESD84件、大腸ポリープに対するポリープ切除術・粘膜切除術258件、早期大腸癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術ESD17件を施行しています。これからも当院の内視鏡室をよろしくお願いいたします。

循環器内科の得意技



循環器内科部長

富安 貴一郎

＝心臓カテーテル治療など＝

まず一番に、地域の皆様が急に生命の危機に陥った重大な時にこそ、私達がお役に立ちたいと考えています。

64年の当院の歴史の中で、新病院が完成した平成11年以降のこの17年間は、地域最大の循環器病の救急救命センターの役目を果たしてきました。これからもその役目を果たすべく、より一層のスタッフや設備の充実を行って、最高の医療を提供できるように努力していく所存です。

私達は従来の標準的な治療に加え、次の様な専門的で高度とされる医療を提供しています。

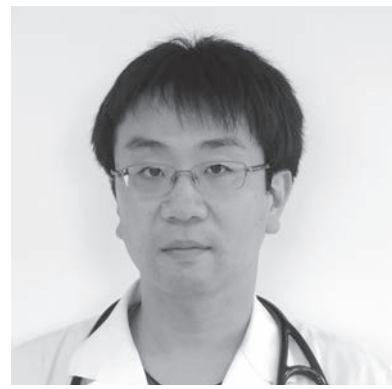
- 1 心筋梗塞・狭心症といった心疾患に対する心臓カテーテル治療（年間約300件）
- 2 足壊疽を含めた閉塞性動脈硬化症・腎動脈狭窄症・肺動脈狭窄症に対するカテーテル治療（年間約50件）
- 3 不整脈疾患に対するカテーテル治療及びペースメーカー治療
- 4 心不全に対する非薬物治療
- 5 社会復帰を目指す救命救急 など

もちろん、当院での医療だけでは完結しない疾患に対しては、大学病院等のより高度な医療機関とも連携を図って、最善の治療法が円滑に実施できる様に努めています。

ただ、どうしても我々の医療資源にも限りがあります。そのため、地域の病院や医院などの医療機関と密に連携して、通院治療は地域の医療機関で、当院では主として入院治療を受け持つといった共同診療を提案しています。

なお、地域の医療機関のご連絡があれば、何時でも当院での医療を受けて頂く事が可能です。

内科の得意技



内科医長
堤 丈士

生活習慣病教育入院

近年、生活習慣病（高血圧・高脂血症・糖尿病や慢性腎臓病など）の患者数は数千万人に増え、特に若年者の「生活習慣病」増加が社会的問題です。この病気は初期には症状がほとんどありませんが、進行すると心疾患（狭心症・心筋梗塞）や脳卒中などが起こり、生活の質（QOL）が低下します。複数の生活習慣病（高血圧・高脂血症・糖尿病）を持つ人は当然これらの疾患がより速く、より多く（心筋梗塞・脳卒中・慢性腎臓病など）起こりやすくなります。

そこで、これらQOLを低下させる疾患を防ぐには、「生活習慣病」全般に対する管理が必要です。

当院の入院では、生活習慣病に対して複数科の専門医や管理栄養士、薬剤師、看護師などの医療スタッフが教育するシステムを採用しています。たとえば、糖尿病の教育入院では、糖尿病専門医と循環器専門医がタッグを組み、一人の患者さんを担当します。その場合、「糖尿病」の治療や検査と心疾患（狭心症・心筋梗塞）の検査を行い、心疾患の評価、すなわち「予防や治療法」につき循環器専門医から直接に指導が受けられます。毎週開催している「糖尿病教室」では医療スタッフの話だけでなく、参加した患者さん同士の悩みを共有し、より具体的かつテーマメイド的（個々に合わせた）対処ができるように工夫しています。

高血圧や糖尿病などの「生活習慣病」を真剣に改善させたいと考えている人・あなたは是非とも、月曜日午後の「生活習慣病外来」に紹介受診（かかりつけ医から紹介、そうでなければ内科初診受診後、「生活習慣病外来」の予約を取ることも可能です）してください！

腎臓内科の得意技



腎臓内科部長
中谷 公彦

慢性腎臓病の治療

当院腎臓内科の診療内容は大きく分けて2つの柱があります。

1つめは、「腎臓の働きが落ちて腎不全という腎臓が動かなくなる状態にならないようにするため、腎臓に関する病気をできる限り早期に発見し治療するという仕事」です。検尿異常（蛋白尿や潜血尿）や軽度の腎機能障害の患者さんに対し腎生検（腎臓の組織を採取する）を積極的に行い、早期に腎臓病的な診断と治療を開始し、腎臓病の進行抑制・寛解導入を目指しております。また、保存期の慢性腎不全の患者さんには「慢性腎臓病精査教育入院」を行い、チーム医療で慢性腎臓病の進行を阻止すべく診療・指導を行っております。

2つめは、「残念ながら末期腎不全に至った患者さんに対する適切な透析医療の提供」です。透析医療には、血液透析と腹膜透析があり、患者さんにはどちらか適した医療を選択していただきます。当院では、血液透析、腹膜透析、どちらの透析導入も可能です。腹膜透析とは、在宅で行う透析療法で、通院は月に1〜2回程度です。自分の体の中の「腹膜」を利用して血液をきれいにします。今までの生活スタイルを大きく変えることなく透析医療を受けることができ、そのまま仕事を続けたい患者さんや透析施設が遠方で通院が困難な患者さんに適した医療と考えられています。

是非、検尿異常や腎機能が悪いなどの腎疾患をお持ちの患者さんは、かかりつけ医を介して早期に当科を受診してください。腎臓病の進行を遅らせる、または完治できる診療を目指します。また、残念ながら透析が近い患者さんも受診ください。ご自身の生活により適した透析医療を提供できる診療を目指します。

小児科の得意技



小児科部長
内藤 岳史

特殊外来

私どもは、中核病院小児科としての重責を担い、府南部の皆であるという自負を持って診療にあたっており、サブスペシャリティー領域の充実が欠かせないと考えております。

《血液慢性外来…加納小児科副部長》
血液学会認定専門医が京都府立医大と連携して血液悪性疾患の診療に携わっているほか、若年性特発性関節炎等の自己免疫疾患に対して生物学的製剤を用いた治療にもあたっております。

《心臓外来…森下医師（府立医大・小児循環器グループ）》
学校検診での精密検査のみならず、先天性心疾患（術後を含む）や川崎病の長期フォローアップを行っています。

《神経外来…内藤小児科部長》
てんかんを中心とする発作性疾患のほか、頭痛や発達の遅れなどにも対応します。てんかんについては近年続々と使用可能となっている新規薬の、適切な選択に精通した小児神経学会専門医が診療します。

《アレルギー外来…和泉小児科副部長》
昨今の罹患者数増加が全国的に問題となっている食物アレルギーを詳細に評価しています。原因食材について、短期入院で経口負荷テストを行い、制限解除を判断するほか、積極的な抗原負荷である「食べて治す」経口免疫療法（緩徐法）を外來通院で行います。

《内分泌・代謝外来…福原医師（府立医大・小児代謝内分泌グループ）》
必要に応じ種々の負荷試験をおこない、低身長・思春期早発症・肥満の治療や指導、内分泌疾患として糖尿病・甲状腺機能異常等の診断治療を行っています。

今後も引き続き、日進月歩の種々領域のレベルアップに力を入れていく所存です。

消化器外科の得意技



外科部長
中田 雅支

がんの腹腔鏡手術

消化器外科は、癌の手術治療を最大の使命とし、治療成績をよくするため、日夜研鑽しています。近年胃癌や大腸癌にも腹腔鏡手術を積極的に導入しています。

腹腔鏡補助下の癌の手術（胃癌・大腸癌）では、腹壁に径0.5・1.2cmのポート（筒状の器具）を数個置き、このポートからカメラや器具を入れて、モニターを見ながら操作します。最終的に標本（切除した胃や腸）を取り出したり吻合したりするための切開（5・7cm程度）を置きますが、胃癌や大腸癌の手術でも、腹腔鏡手術ならば6cm程度の傷と数個の小傷（0.5・1.2cm）で済むということです。

それでは、腹腔鏡で手術を行うとどんなメリットがあるのでしょうか。最大のメリットは従来の大開腹の手術に比べて傷が小さいということです。傷が小さいと術後の患者さんの疼痛はその分少なくなり、術後の回復の経過（退院や社会復帰）も早くなるといわれています。傷跡も小さくなります。しかも、カメラの性能が上がっていること等もあって、より繊細な観察や操作が可能で、その結果出血量も少ない傾向にあります。

一方腹腔鏡手術にはデメリットもあります。手術の際触診できないので、独特の感覚や手技に慣れる必要があります。大開腹手術に比べて手術時間が長くなる傾向にあり、手術中の患者さんの身体負担が大きくなる可能性があります。また、進行癌や大きな癌では腹腔鏡手術を慎重に検討されるべしとの意見もあります。当院ではこれらの状況を踏まえながら患者さんの病態や希望も勘案し、腹腔鏡手術のメリットを最大限に生かすよう手術計画を立てて症例数を重ねています。例えば、2015年の当科の腹腔鏡手術率（全体の中で腹腔鏡手術を行った割合）は、胃癌で58%、結腸癌で64%、直腸癌で95%となっており、いずれも全国平均を上回るレベルです。これからも最新の知識を取り入れながら、実際の癌の手術に生かしていきたいと思っています。

呼吸器外科の得意技



呼吸器外科部長
伊藤 和弘

肺癌手術

肺癌の手術というと、背中からばつさりと大きく開ける大手術というイメージをお持ちではないでしょうか。このように大きく切つて手術を行っていたのは、私が研修医だった頃、20年くらい前のことです。術後の痛みが強く、患者さんはかなり辛かったであろうと思います。

その後、内視鏡機器の進化により、肺癌の手術で内視鏡手術を行うようになったのが15年くらい前からです。当院では、2cm程度の小切開を2カ所と、腋窩に6cm程度の小切開の合計3カ所の傷で肺切除を行う内視鏡手術を行ってきました。傷が小さくなつた分、術後の痛みも少なくなりました。

さらなる低侵襲手術として、1カ所の傷で肺癌の手術を行う術式を取り入れました。アジア心臓血管呼吸器外科学会（台湾）という国際学会に参加した時、お隣の中国・台湾では普通に行われている術式であることを知りました。当院でもできないかと検討し、準備を進め、平成28年4月から導入しました。1カ所の傷で手術を行うと、3カ所の傷の手術とくらべて、手術後の痛みがさらに少なくなっています。

肺切除術を行うにあたって、最も懸念されるのは安全性・確実性ということになります。腫瘍の場所、大きさによって手術方法も変わってきます。手術前に3次元CT画像を作り、入念にシミュレーションを行った上で手術の方法を決めています。今後も、安全・確実で、低侵襲な手術を通して、肺癌の外科治療を提供していきたいと思っています。



後側方切開による開胸創

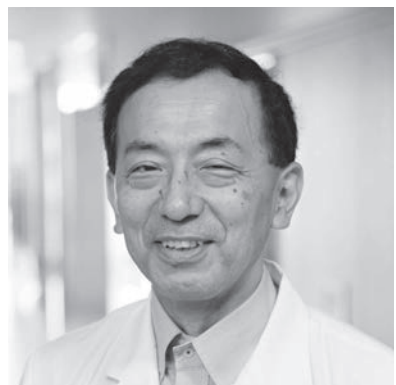


3カ所の切開による内視鏡手術



1カ所の切開による内視鏡手術

産婦人科の得意技



産婦人科部長
澤田 重成

内視鏡下手術

近年、体の負担をできるだけ少なくする低侵襲手術が産婦人科においても広く実施されるようになってきています。内視鏡下手術は急速に普及してきている術式で、現在では婦人科良性疾患のほとんどが内視鏡下手術の適応疾患となつてきています。当院産婦人科では以前より卵巣嚢腫、卵巣出血、子宮外妊娠などに対しては鏡視下手術を行い、子宮筋腫、子宮脱、子宮頸部初期癌などには腹部に切開のない腔式手術を行っていました。しかし、本年度より婦人科良性疾患に対する内視鏡下手術をより積極的に導入することとなり、大きな子宮筋腫や子宮腺筋症、卵巣嚢腫合併子宮筋腫例においても腹腔鏡手術を取り入れていきます。手術創が小さいため美容上も優れ、術後の疼痛がより軽くなり、早期離床や入院期間の短縮、しいては早期社会復帰が可能となつてきています。

外来で婦人科疾患を有する方に対し正確な診断をした後に、内視鏡下手術が適切と判断した方には治療内容を十分に御理解していただいたうえで、内視鏡下手術の恩恵をできるだけ多くの方に受けていただければと思っています。心当たりのある方はかかりつけ医を介して外来を受診のうえ、御相談下さい。

院内病理診断が 始まりました

当院では平成 28 年 4 月より、それまで外部委託であった病理診断が院内で行えるようになりました。患者さんが病院に来院されると、適切な治療の為に適切な診断が必要になります。病理検査とは、疾患の診断や原因の究明を目的として患者さんから採取された細胞や臓器・組織などを対象に行う検査のことです。主にがんの発見・診断を目的とし、細胞や組織を顕微鏡で観察して調べます。この病理診断を専門とする医師が病理医です。

京都府立医科大学人体病理学特任教授である柳澤昭夫先生をはじめとし、他数名の病理医が決まった曜日に病理診断を行っています。これにより、当院でも大学病院レベルの診断が可能になり、また、手術中に採取した組織や臓器を迅速に診断する術中迅速病理診断も可能となりました。患者さんの臨床主治医から病理診断について気軽に相談できるように、適切な診断と治療に繋がっています。採取された貴重な組織や臓器を正確に診断する為には、臨床主治医と病理医、看護師、検査技師の連携プレーが欠かせません。質の高いがん医療を提供できるように、また、その拠点となる地域がん診療病院の一つとして、更に充実した病理検査を目指します。

臨床検査課



柳澤昭夫先生

介護老人保健施設 やましろ

介護老人保健施設 やましろでは、8 月 7 日に、毎年恒例の夏祭りを開催しました。夏祭りは、レクリエーション委員会が中心になって何ヶ月も前から準備を行って開催する一大イベントです。この日は、スタッフも、浴衣や法被姿で雰囲気盛り上げます。今年も、射的、パンチボールすくい、ころころボール、くじ引きなどのゲームの他、お好み焼き、ジュースの出店を作り、入所者様やご家族様が各コーナーを回ってにぎやかに楽しめました。



今年度から催し物として新しく取り入れたパンチボールすくいは、たこの形をしたパンチボールを水に浮かべ、ヨーヨーつりのように吊り上げるゲームです。入所者様たちは、吊り上げたカラフルなパンチボールを車椅子にぶら下げたり、一緒に参加されたひ孫さんにプレゼントしたりして大変喜ばれていました。また、お好み焼きは、利用者様のリクエスト上位のおやつメニューですが、この日は、いつもと違い、ご家族と一緒に楽しく召し上がられたことでより美味しく感じられたようでした。

当日は、大勢のご家族様にご参加いただき、ありがとうございました。いつも以上に入所者様やご家族様の笑顔を見ることができ、大変嬉しい一日となりました。

介護老人保健施設 やましろでは、入所サービスの他、通所リハビリテーションも行っております。まずはお電話で、お気軽にお問い合わせください。

介護老人保健施設 やましろ
(0774) 73-0359

登録医 当院では、地域のかかりつけ医との連携診療を進めています。
紹介 「登録医」制度にご協力頂いている地域の医療機関を順番にご紹介させていただきます。

【いとうクリニック】
診療科：泌尿器科・人工透析（木津川市木津）
院長：伊藤 英晃 先生

泌尿器科	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
	9:30~12:30	×	×	×	▲	▲	○	×
	17:30~19:30	○	×	○	×	○	×	×

休診日：火・日・祝日
※受付は診察終了の 30 分前 ▲…10:00~11:00 予約再診のみ

人工透析	診療時間	月	火	水	木	金	土	日
	8:30~14:30	○	○	○	○	○	○	×
	14:30~22:30	○	×	○	×	○	×	×

休診日：日
先生から一言：朝から夜まで患者さんの生活環境に合わせた通院血液透析と、夜間と土曜日を中心とした泌尿器科外来診療を行っております。今後ともよろしくお願ひします。

所在地 〒619-0214 京都府木津川市木津池田 34-6
TEL：(0774) 71-5511

【吉村医院】（木津川市加茂）
診療科：内科・小児科
院長：吉村 陽 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
17:00~19:30	○	○	×	○	○	×	×

休診日：日曜日・祝日、水曜日・土曜日午後
先生から一言：父から引継ぎ移転し 13 年経ちました。子供から高齢の方まで未病の治療を信条に診療を続けています。地域の総合診療医としてスタッフと供に診療を行っています。

所在地 〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目 6-12
TEL：(0774) 76-8424

【天野医院】
（相楽郡精華町）
診療科：内科・循環器科・リハビリ科
院長：天野 基弥 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	×
16:00~19:00	○	○	○	×	○	×	×

休診日：日曜日・祝日、木曜日・土曜日午後
先生から一言：生活習慣病を中心とした内科の診療を行っています。なんでも御相談いただければ嬉しいです。どうぞよろしくお願ひいたします。

所在地 〒619-0246 京都府相楽郡精華町下粕河原田 45-3
TEL：(0774) 95-9500

看護師募集 地域の中核病院で一緒に働きませんか
詳しくはホームページをご覧ください
<http://www.yamashiro-hp.jp/>

待遇 ○地方公務員に準ずる
○期末勤勉手当 年 2 回（6 月、12 月）
○定期昇給 年 1 回

●中途採用者

お気軽にお電話ください

TEL0774-72-0235（看護部もしくは事務局まで）